

令和2年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】水産科学の最新事情	講習形態	講義
開設者	長崎大学	定員	60名
開設日/時間	令和2年8月18日(火)/9:50~17:00	会場	遠隔授業が受信できる場所。職場もしくは自宅など。
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校(理科)・高等学校(理科,水産) 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員: 山田 明德(総合生産科学域) /ayamada@nagasaki-u.ac.jp/095-819-2847			
担当教員(分担担当者等) 市川 寿(総合生産科学域)、石橋 郁人(総合生産科学域)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 遺伝子に関する最新の知見を取り入れながら分子生物学を学び、知識を高める(担当:山田明德) 食品の機能と現代的課題;特に二次機能(感覚機能)に関わる高齢化社会への対応とグローバル支援について知識を深める(担当:市川 寿) 海洋生物が作り出す,抗がん活性や抗ウイルス活性等の様々な生理活性を持つ天然有機化合物の構造とその作用について理解を深める(担当:石橋 郁人) 講習方法: 3人の担当講師が2時間ずつ講義を行う。担当講師の分野別にそれぞれ30分の筆記試験を行い、講習到達目標に関する理解度を評価する。各担当講師は、パワーポイント資料等の提示を行いながら、講義を進める。 講習到達目標: 遺伝子に関する基礎知識を持ち、分子生物学について説明することができる。 栄養機能のみならず、食品機能を説明することができ、課題解決につなげられる。 海洋生物由来の生理活性物質の構造,生理作用及び化学合成法について説明することができる。			
講習内容(概要)/講習計画(時間毎の講習内容を含む)/キーワード 講習内容(概要) 食の安全保障や食の安心・安全の問題等,近年,水産業界の重要性が再認識されるとともに,取巻く状況は大きく変化している。本講座では,世界及び国内の水産業界並びにそれらを支援する科学技術の動向を理解することを目的として実施する。本講座では,分子生物学,食品学,天然物化学に関する最新情報を提供する。 講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:50~10:00	山田 明德
	講義1【分子生物学】(筆記試験30分を含む)	10:00~12:00	山田 明德
	休憩(昼休み)	12:00~12:50	
	講義2【食品学】(筆記試験30分を含む)	12:50~14:50	市川 寿
	休憩	14:50~15:00	
	講義3【天然物化学】(筆記試験30分を含む)	15:00~17:00	石橋 郁人
キーワード (分子生物学) (食品学) (天然物化学)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	必要な資料は、講義時に各担当者から配布します。		
各自で準備するもの	特にありません。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		